

# 平成26事業年度事業報告書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

## 1. 事業活動

### (1) 公益目的事業

本事業については、研究開発助成等として10件20,060千円(表Ⅰ)、海外に対する普及協力及び国際交流等助成として3件3,740千円(表Ⅱ)、放送大学の学生に対する助成として18,200千円(表Ⅲ)、合計で前年度と同額の42,000千円の助成を実施した。

(単位:千円)

助成項目	平成26年度	平成25年度	対前年度比
研究開発助成等	20,060	19,454	606
海外に対する普及協力及び国際交流助成	3,740	5,546	△ 1,806
放送大学学生助成	18,200	17,000	1,200
合計	42,000	42,000	0

表Ⅰ 研究開発助成等

研究開発事業名	申請代表者	所属大学・職名
インターネット等を活用した新たな教育媒体の検討及び学習支援の充実等について	來生 新	放送大学 副学長
ラジオ番組とテキスト情報とを融合したネット教材開発に関する研究(3-3)	児玉 晴男	放送大学 教授
放送大学印刷教材等の教材アーカイブ化とアーカイブの大学院教育への応用(3-1)	坂井 素思	放送大学 教授
中東を中心とする国際情勢の 이슈ー・地域横断的研究	高橋 和夫	放送大学 教授
潜在保育士のピアノ演奏基礎能力の習得を目的としたタブレット型ピアノ実技習得eラーニング教材の開発	辻 靖彦	放送大学 准教授
放送大学型アクティブ・ラーニングのための教材開発(3-1)	秋光 淳生	放送大学 准教授
遠隔教授学習過程の記述:放送大学オンライン授業を対象に(3-1)	高橋 秀明	放送大学 准教授
キャリア教育のための暗黙知教材の開発(3-1)	西村 美東士	聖徳大学文学部 文学科・キャリアコミュニケーションコース 教授
通信教育における、建築設計分野に特化した教育テキスト作成及び、学習の双方向性を踏まえた実証的調査研究ーその2(2-1)	松本 篤	愛知産業大学 通信教育部造形学部建築学科 教授
情報系教育におけるプログラミング科目での導入教育教材の開発および教育手法の研究(2-2)	河合 儀昌	金沢工業大学 教育支援機構 情報基礎教育研究センター 次長

表Ⅱ 海外に対する普及協力及び国際交流等助成

事業名	申請代表者名	所属大学・職名
放送大学のODL(公開遠隔学習)経験移転を軸にしたブータン王立大学シェルブツェ・カレッジとの国際交流プロジェクト(3-2)	河合 明宣	放送大学 教授
チベット・内モンゴル地域における遠隔教育に関する実証研究－放送大学との交流と連携可能性について－(2-1)	苑 復傑	放送大学 教授
今後の大学教育におけるオンライン授業のあり方に関する調査	來生 新	放送大学 副学長

表Ⅲ 放送大学の学生に対する助成

① 学生団体活動への助成 (サークル情報誌、活動連絡等に係る経費の一部補助)
② 学生研修旅行への助成 (研修旅行に係るバス借上費等に係る経費の一部補助)
③ 放送大学同窓会連合会等が行う学生支援事業に対する助成 (学生相談会等の学生支援事業に係る経費の一部補助)
④ 障害学生支援事業に対する助成 (車椅子8台、文字読取装置3台の購入費の一部補助)

(2) 印刷教材出版・頒布事業

本事業については、平成27年度新刊本(76科目)179千部、既刊本等212千部、合計390千部を出版・頒布した。学園への納入部数は、学部289千部、大学院20千部の合計308千部で対前年度60千部の減少、市販部数は学部73千部、大学院9千部の合計82千部で対前年度14千部減少した。この結果、合計では、対前年度74千部減少の390千部となった。

( 単位:部 )

区 分	内 訳	平成26年度	平成25年度	対前年度比
放送大学学園納入部数	学部	288,571	354,829	△ 66,258
	大学院	19,727	13,792	5,935
	計	308,298	368,621	△ 60,323
市販部数	学部	73,353	84,060	△ 10,707
	大学院	8,620	11,464	△ 2,844
	計	81,973	95,524	△ 13,551
合 計		390,271	464,145	△ 73,874

### (3) 放送教材複製・頒布事業

本事業については、授業科目について、新刊(24科目)2,160枚、既刊1,260枚の計3,420枚、特別講義について、新刊(3タイトル)36枚、既刊23枚の計59枚、合計3,479枚を複製・頒布した。新刊の授業科目の頒布が増加(645枚)したことから、放送教材の複製頒布数は、対前年度760枚の増加となった。メディア教材については、対前年度4枚減の82枚となった。

この結果合計は、対前年度756枚増の3,561枚となった。

(単位:枚)

区 分	内 訳	平成26年度	平成25年度	対前年度比
放送教材	授業科目	3,420	2,595	825
	特別講義	59	124	△ 65
	計	3,479	2,719	760
メディア教材(教師教育ビデオ、学部・高専用ビデオ教材)		82	86	△ 4
合 計		3,561	2,805	756

## 2. 事業活動収支状況

### (1) 印刷教材出版・頒布事業

本事業による収益は、放送大学への納入部数の減少により対前年度114,193千円減の545,696千円となった。

一方印刷教材作成費は、対前年度5,835千円減の243,954千円となり、この結果収支は、対前年度108,358千円減の301,743千円となった。

(単位:千円)

区 分	平成26年度	平成25年度	対前年度比
印刷教材出版・頒布事業収益	545,696	659,890	△ 114,193
印刷教材作成費	243,954	249,789	△ 5,835
収 支 ①	301,743	410,101	△ 108,358

### (2) 放送教材複製・頒布事業

本事業による収益は、新刊の授業科目の頒布が増加したことにより、対前年度7,086千円増の35,263千円となった。

一方放送教材作成費は、頒布数量の増加に伴い、対前年度6,379千円増の25,645千円となり、この結果収支は、対前年度707千円増の9,618千円となった。

(単位:千円)

区 分	平成26年度	平成25年度	対前年度比
放送教材複製・頒布収益	35,263	28,177	7,086
放送教材作成費	25,645	19,266	6,379
収 支 ②	9,618	8,911	707

(3) 資産運用等

基本財産・特定資産(放送教育振興基金)及びその他の投資有価証券の資金運用等により、対前年度51,435千円減(前年度は期日前償還益が多かったため)の48,091千円となった。

(単位:千円)

区 分	平成26年度	平成25年度	対前年度比
資産運用収益	46,559	97,064	△ 50,505
その他雑収益等	1,532	2,462	△ 930
計 ③	48,091	99,526	△ 51,435

(4) 助成事業・管理費等

助成事業は、前年度と同額。事業管理費支出については、対前年度3,457千円減の273,822千円、管理費支出については、対前年度667千円減の37,839千円となり、これらの支出の合計は、対前年度4,124千円減の353,660千円となった。

(単位:千円)

区 分	平成26年度	平成25年度	対前年度比
助成事業支出	42,000	42,000	0
事業管理費支出	273,822	277,279	△ 3,457
管理費支出	37,839	38,506	△ 667
支出計 ④	353,660	357,784	△ 4,124

(5) 収支の状況

(1)～(4)の結果、当期経常増減額は、対前年度154,961千円減の5,792千円となった(印刷教材出版・頒布事業及び資金運用収益の収入減による。)

一方、為替相場の変動により保有有価証券の時価評価益が、対前年度130,350千増の70,780千円となった。また、法人税等1,847千円を納付した。

この結果、当期一般正味財産増減額は、対前年度17,729千円増の74,725千円となった。

(単位:千円)

区 分	平成26年度	平成25年度	対前年度比
事業収支合計 ⑤ ( ①+②+③ )	359,452	518,538	△ 159,086
助成事業・管理費等支出合計 ( ④ )	353,660	357,784	△ 4,124
当期経常増減額 ⑥ ( ⑤-④ )	5,792	160,753	△ 154,961
投資有価証券評価損益等 ⑦	70,780	△ 59,570	130,350
法人税等 ⑧	1,847	44,188	42,341
当期一般正味財産増減額 ( ⑥+⑦-⑧ )	74,725	56,996	17,729

### 3. 正味財産期末残高

上記の結果、平成26年度の正味財産期末残高は、対前年度74,725千円増の2,844,005千円となった。

(単位:千円)

区 分	平成26年度	平成25年度	対前年度比
正味財産当年度末残高	2,844,005	2,769,280	74,725

### 4. 附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」については、平成26事業年度事業報告では該当の事項はない。

(注)

- 1 消費税は、税抜き表示。
- 2 表の計数は、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計と合致しないものがある。